



2020年末手当の悔しさをバネに、 労働組合としてさらなる運動を推し進めよう！



第9回定期大会

11月27日、新潟市「万代市民会館」において「新潟地本 第9回定期大会」を開催しました。

新型コロナウイルスが再び感染拡大傾向にあることを十分認識し、会場入り口での検温・手指消毒の実施や会場内での換気実施による適宜休憩、アクリル板の設置やマイク等の消毒を都度行って、感染拡大防止に努めた中での開催となりました。

今大会では、特にコロナ禍でこれまで新潟地本が築いてきた全ての取り組みの成果と教訓・課題を共有しました。

質疑は、10名の代議員からの発言がありました。「コロナ禍における運動の悩み」「2020年末手当のたたかい」「職場環境の改善への取り組み」など、職場からの取り組みの報告が熱く語られました。

その後の採決では「2020年度運動方針」「2020年度予算」「規約・諸規則の一部改正」など全ての議案が採決されました。

コロナ禍での大会であるため万全な準備を行い、また大会の議長を務めた酒田支部選出の斎藤議長によるスムーズな議事進行のもと、成功裏に大会を終了することができました。



コロナ禍でも「納得のできる働き方」を求めて、東日本ユニオンは取り組みます！